

小規模多機能ホームすずらん

第96回 運営推進会議 議事録

開催日時：令和 6年 2月26日（月）

開催場所：旧デイサービスセンター

1. 議事

(1) 活動状況報告

- ・12/19 令和5年度「リスクマネジメント研修 一般コース」
- ・12/22 クリスマス会（15名）
- ・12/26 職場会議でノロウイルス感染症について研修
- ・12/28 買い物外出（1名）
- ・1/4・5 物部神社へ初詣（6名・9名）
- ・1/11 3Vさん誕生会（7名）（ラーメンとぜんざいを希望され、昼食とおやつで提供）物部神社、イオンへの外出を希望され、職員が同行
- ・1/14 7Iさん誕生会（6名）（散らし寿司、煮魚、ケーキを希望され、昼食とおやつで提供）
- ・1/19・20 初釜（9名・8名）
- ・1/26 7Lさん誕生会（9名）（饅頭を希望され、おやつで提供）
- ・2/13 大森へのドライブ（9名）

(2) 大田市役所より助言

- ・1月終わってから新型コロナウイルス感染症が増えています。市にも報告が入ってきています。
- ・西部では感染性胃腸炎が流行っています。ノロウイルスに注意が必要です。

(3) 推進員からの意見等

介護保険制度の改定について

- ・介護保険について、新聞報道がありましたが、どのような影響がありますか。

（地域住民の代表）

→小規模多機能については、介護報酬は微増です。認知症加算、総合マネジメント加算について種類が増えており、今までと同じ内容だと減算になります。分らないように細かく下げていくのが、今の政府のやり方です。

訪問介護は介護報酬が減算になっています。特に中山間地域では、今までも

ヘルパーがいなくて利用できませんでしたが、一層、難しくなるのではないのでしょうか。3カ月入院して自宅に帰る時、以前のようにヘルパーが手配できず、利用回数を減らしたり、有料ヘルパーを利用する状況があります。

（事業所職員）

- ・国は加算で介護報酬を上げると言いますが、加算を取るためのハードルが高いですね。（市役所職員）

- ・介護保険サービスの利用者が増えているで、厳しくなっているのでしょうか。

（地域住民の代表）

- ・介護認定を受ける人が23%位と県内でも高い状態です。介護保険料の標準額は6900円です。大田市では高齢者数はピークアウトしていますが、介護サービスを利用する人はほぼ変わらない状態が続くので、4月から介護保険料が上がります。（市役所職員）

事業所の取り組みについて

- ・大森に梅を見に行って、外でお茶も飲みました。（利用者の代表）
- ・外に出たいという希望があり、ドライブの計画をしました。大森に行きたいと言われた人があり、希望がかなったと喜んでおられました。（事業所職員）
- ・高速道路が3月9日に開通予定。ルート上に三瓶山が綺麗に見られる所があり、開通後にドライブで通ってみるのもよいかもしれません。
中日もあり、出かける機会は増えるのではないのでしょうか。
駅前再開発で解体する建物や建て替え等の動きがあります。（知見を有する者）

災害時の対応について

- ・災害時の訓練について、学校では児童の引き渡し訓練もしていました。どのような時に迎えに来てもらうのかとことで、震度6以上の地震が起こった時を想定していました。計画の中で決めておくとういと思います。
施設でも必要なことではないかと思いますので、訓練もされていた方がよいと思います。（地域住民の代表）
- ・引き渡すかどうかの判断も難しいところがあります。東日本大震災では避難が遅れたせいで犠牲になったとして、訴訟になっているケースもあります。
（市役所職員）
- ・すずらん大田と川合の合同訓練も必要だと思います。（事業所職員）
- ・訓練していてもその通りにはならないことが多いです。実際に火災が起こった時に、訓練とは違う指示をしてしまった経験があります。（地域住民の代表）

(4) 事業所自己評価について

- ・総括表について、3月10日頃を目途にご意見をいただきたいと思いますので、ご連絡します。

以 上